

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-III-4

4-III
-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	立入区域の制限とその明示
	節 III. 安全対策の徹底			
事業(施策)名	4 緩衝地帯等における立入禁止区域の設定と周知		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～H34	関連団体	県治山課、県農地計画課、県文化行政課、佐渡地域振興局(地域整備部、農林水産振興部)、佐渡市財務課、(株)ゴールデン佐渡
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緩衝地帯等における立入禁止区域の設定等により、来訪者の適切な誘導を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緩衝地帯等における立入制限やその情報提供、また、関連機関との情報共有や調整を行い、立入禁止区域の設定と来訪者への注意喚起を促すサインの設置等を行う。 			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他地域における取組事例の情報収集とサイン設置に向けた現況の設置状況の把握と想定されるサイン不足箇所の洗い出しなど、今後のサイン等の設置に向けた基礎情報の収集に努めた。 			
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 構成資産が広範囲に分布することから、効果的な箇所にサインを設置する必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 関係機関と連携のうえ、立入禁止区域を設定し、サイン等の設置を行う。 			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a (b) ・ c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) ・ c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) ・ C]</p> <p>◇ H28年度は、今後のサイン等の設置に向けた基礎情報の収集・検討期間と位置付けているため、今後の事業展開に向けて一定の成果があったと考える。</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。